

今回は、筆者の主張を読み取るところを学習します。文章は、筆者が何か伝えたいことがあって書くものです。この、最も伝えたいことは何かを読み取ることが大切です。

「ポケットに手を入れたまま歩くのはやめましょう。」

このような主張があったとしましょう。確かにこれだけでも「主張らしい表現」となっています。しかし、これでは説得力がありません。では、こうしたらどうでしょうか。

- ①冬になると、転んではがをする生徒が増えます。それはなぜでしょうか。
- ②冬の朝は寒く、手袋をしていない生徒はポケットに手を入れて登校してきます。そのときに転んでしまうと、とっさに手が前に出ずに、そのまま地面にたおれてけがをします。まうのです。
- ③ですから、ポケットに手を入れたまま歩くのはやめましょう。

右の文では、③が主張ですが、それを述べる前に、①で話題を示し、②で③のように主張する理由を説明しています。このように、主張の理由（根拠）や、話題などが事前に示されると、なぜ筆者がそう主張するのか、どんな事例があったのかといったわかりやすいことがわかるので、文章に説得力が生まれるのです。

●主張の読み取り方

説明文での主張を読み取る手順は、次のとおりです。

＜主張の読み取り方＞

- (1) 文章の話題をつかむ。
- (2) 形式段落ごとの内容をつかむ。
- (3) 形式段落のはたらきをつかむ。
(具体例・反対の内容・同じ内容の言い換え、など)
- (4) 話題とのつながりや、具体例から導き出すことなどから、それらをつらぬく筆者の考えをつかむ。

具体例は主張をわかりやすく伝えるためのものだから、具体例から、どんなことが言いたいのかを考えてもいいね。



← 次のプリントにつづく

Z会 × すたペンドリル

考える楽しさを体験しよう!



くわしくは
こちら!

Z会の本



かわいい小学生になろう



次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

① 食べられるのにすててしまふ食品を「食品ロス」といいます。平成二二年度の農林水産省の調査によれば、わが国では年間一七〇万トン、一人当たりに直すと約一五キロ、ご飯茶わんにして実に約六十食分の食料が、まだ食べられるのにも関わらず、すてられているという計算になります。

② この数値を知って、とてもおどろかされたのではないでしょう。おそらく多くのみなさんが、自分はそのな無駄にしているとは思っていなかった、知らなかったと言うのではありませんか。このおどろきに「食品ロス」を減らす手がかりがかくされているのです。

③ 安いからと言ってまとめ買いをしないことや、外食の際に多く注文しない、残したら持ち帰るなど、「食品ロス」を減らす工夫はたくさんあります。一人でも多くの方が、この取り組みを継続させなければなりません。そのためには、まず、自分がいつ、どこで、どんな食品を、どれくらいすてているのかを知っておくことが大切なのです。これを「食品ロス」の「可視化」(見えるようにすること)といいます。自分の食

に対する気づきがなければ、この取り組みは定着しないのです。④ 試しに、おうちの方と一緒に、一週間で無駄にしてみました。食材を書き出してみてもどうでしょう。きっと何か気づくことがあるはずですよ。

20

15

10

5

1

① 段落の「ご飯茶わん」のように、身近な数字を使って説明している理由を次の中から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 具体的な数字を出すことで、「食品ロス」を減らす数値目標を設定しやすくするため。

イ ただ意見を述べるだけでは読者は信じないので、動かしがたい事実をつきつけておどかさため。

ウ 日々どれだけの量の食品をすてているか、読者自身に実感してもらうため。

エ 食べ物を無駄にしている張本人は自分たちであると気づかせ、反省をうながすため。

② 筆者の主張をまとめました。次の文の()にあてはまる内容を考えて書きなさい。

自分たちが() () に気づくこととて () () につなげたい。

これができる！
この問題集！

それぞれの段落のはたらきを考えると、筆者がいちばん伝えたかったことがわかるよ！



Z会 × すたペンドリル

考える楽しさを体験しよう！



くわしくはこちら！

Z会の本



かわいい小学生になろう